



震災など怖い思いや体験をすると、大人だけでなく幼い子どもも大きなストレスや不安を感じます。すると子どもたちには、下痢や便秘、睡眠リズムの乱れなどの身体の変化や、かんしゃく、落ち着きがなくなる、おもしろなどさまざまな反応があらわれることがあります。そして回復の鍵となるのが大人との安心できる関係性や存在です。どのように回復していくのか、また遊びの中で大人にできるサポートなどをお話ししていただきます。

## 話題提供

## 怖い思いをした子どもが遊びの中で回復していくとき —大人にできること—



東京都内の区立教育相談所での心理相談を経て、栃木にきてからは十数年、乳幼児から高校生までの子育て相談、トラウマを抱えた大人の方の相談に従事してきました。東日本大震災の際は5年間、園の先生方や保護者の方を対象とした震災支援活動に携わりました。圧倒されるような怖い体験をした子どもたちは、身近な大人に支えられ、遊びや暮らしの中で安心を回復していきます。今回は経験と学んだことを分かち合い、皆様からもご経験をシェアしていただき、子どものもつ回復力とそれを支える大人のあり方や関わりについて、語り合えたらと思います。

### 松岡 展世

(臨床心理士、公認心理師、宇都宮共和国子ども生活学部准教授、日本プレイセラピー協会理事)

日時 8月27日(火) 19:00~20:40

参加費 新医協会員 無料/一般 1,000円

会場 オンライン Zoom

#### 【参加申込】

氏名・職種・勤務先・新医協会員 or 一般を明記のうえ、新医協へ「小児保健研究会 参加希望」とメールをください。折り返しご連絡させていただきます。どなたでもご参加できます。

【主催】新医協（新日本医師協会）

〒171-0021

東京都豊島区西池袋 1-10-2 日高ビル

TEL.03-3988-8387

FAX.03-3983-6165

MAIL. [honbu@shinikyo.com](mailto:honbu@shinikyo.com)

